



在京古高同窓会会報
第51号
〒352-0031
新座市西堀2-17-37
在京古高同窓会事務局
FAX (042) 494-1598
Email skyoji@jcom.home.ne.jp
発行責任: 曾根 研一
編集長: 亀井 明
印刷: (株)ケーヨー

ご挨拶
会長 高橋 俊裕



在京古高同窓会の皆様お元気ですか。ゴールデンウィークは東北に巡礼して参りました。東北の春は遅々として暦を大幅に狂わせていました。

近年はドカ雪・ドシャ降り、加えて台風なみの強風。一旦仕舞い込んだヒートテックの下着、厚地の服と冬支度で出掛けました。ソヨソヨと吹く風、シトシトと降る雨、シンシンと積もる雪、暑さ寒さも彼岸まで、等々どこへ行ったのでしょうか。

さて、先回の会報執筆時は総選挙の結果は不明でしたが、フタを開ければ、自民の圧勝。小泉さんの郵政選挙以来のこの様なブレ方が続いています。これで良いのでしょうか。とは云え、安倍政権が発足以来矢継ぎ早に色々な手が打たれています。閉塞感も和らぎ少し将来に明るさも見えてきた様に思います。

しかし、強力な手を打てば必ずどこかにしわ寄せが出てきます。

古高同級生のM君は1年のうち半年をタイで暮らしていますが、これまで月額25万円の年金で悠々の生活でしたが、急激な円安で月額20万円の生活になってしまったと嘆いていました。

施策が有効であればある程副作用も強くなります。思うにリーダーには判断力・決断力が必要ですが、他方では恩恵から外れた人々への側隠の情がなければなりません。アベノミクスの効果が行き渡るにはまだ1年以上かかると思います。安倍さんがその間に見せる側隠の情によってアベノミクスの効果も変わることでしよう。とは云え、当面は経済対策に専念して欲しいと思います。

さて、本年1月恒例の4校新年会は阿部元東北大学総長のお話を伺いました。江沢氏氏の東北大学訪問時の感想をもとに、多様な価値観をもつことの重要性をお話いただきました。そんな中で私は、原発事故の最終処理まで何十年もかかる、今後も原子力の研究をしつかりやるのが、被爆国家として原発事故経験国として世界に貢献できるとの意見に共感を覚えました。

3月の古高卒業式には大友監事と出席し、東京雪賞の授与を行いました。母校の新校舎の建設は、人手不足と建設費の高騰で遅れているようですが、学生は鈴木校長の下、明るく元気で礼儀正しく往

在京同窓会メモ
・会計年度は4-3月、年会費は一口2,000円です。
・会の健全運営のため、振替用紙が同封された方には、納入をお願い致します。
・次回会報第52号は2014年1月1日発行予定、原稿は常時受付。

年の古高の品格を取り戻しつつある様に見受けられました。

さて、本年の総会では、時局講演会を催すことに致しました。講師は加藤勝信衆議院議員です。同氏は安倍総理の側近としてまた内閣官房副長官として安倍政権を支えている一人です。

アベノミクスの成長戦略、外交戦略そして安倍総理の描く日本の将来などについて、政権の内側からお話しいただく予定です。

参議院議員選挙の最中ですが多忙の中快く引き受けていただきました。多数の方のご聴講をお願いする次第です。

その他本年の活動について、ご紹介いたします。9月は母校初のタカラジェンヌ蓮つかさ君の東京公演があります。応援団として観劇者を募ります。参加者は講演終了後、食事を共にしながら蓮君を激励する予定です。

10月にはふるさと探訪ツアーを実施します。今回は仙台周辺を企画しておりますが、復活した在京古高同窓会との交流もいたしたいと企画しております。

又、在京同窓会として会員交流を活発化させる為、ネットの活用など企画努力中です。年内にはホームページを立ち上げ、同窓会活動を充実させていきたいと準備中です。それでは7月の総会に沢山の方々がご参加され、親しく交流できることを念じてご挨拶いたします。

ご挨拶
古川高等学校長 鈴木 悟



桜花爛漫の古高グラウンドを眺めながら、古高で3度目の春を迎えられる幸せをかみしめております。

在京同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。昨年の総会には第64回生が多数参加させていただきましたとのこと。本校に赴任当初、「同窓会に、若い世代にもっと参加して欲しい」「現役の高生に会って様子を聞きたい」という要望が寄せられておりましたが、少しずつ変化が生まれてきたことを嬉しく思います。

さて、本年度、本校は1177年目を迎えますが、それはとりもなおさず東日本大震災後3年目でもあります。

この時にあたり、文武両道に励み、質実剛健・学問尊重・自主自律の校訓を体現する生徒の育成に加えて、「将来的に震災復興の力となる人材の育成」を今年の教育目標にしました。

生徒諸君は「日々の勉強や部活動など一つ一つの活動が、きつと震災復興に役立つと信じてがんばる」と自らに言い聞かせて目標に向かって邁進しております。今春も、多くの卒業生がこうした努力を重ね、高い志を持って母

校を巣立って行きました。先輩の皆様方におかれましては、どうぞ、後輩たちをよろしく願っています。また、私自身も初心にかえり、微力ながらも少しでも古高のお役にたつために精進する所存です。今年度も昨年同様よろしく願っています。

歴史探訪と同窓生交流を深めて

「ふるさと探訪ツアー2013」のご案内
一宮城の国宝や多賀城の歴史探訪とトヨタ新鋭工場を訪ねる一

日時:平成25年10月17日(木)～18日(金)(1泊2日)

※コース概略

- 1日目:古高訪問→トヨタ工場見学→七ツ森・船形山麓周遊→佐藤忠良展示館→大崎八幡宮(仙台宿泊)
- 2日目:松島(瑞巖寺、五大堂)→塩釜神社→多賀城跡・歴史博物館→支倉訪欧使節団遺物(仙台博物館)→瑞鳳殿→仙台駅

ツアー費(見込み):男性22,000円 女性20,000円(JR古川へ、仙台からの交通費を除く)
申込み先:在京古高同窓会事務局 (佐々木恭次) (懇親会のみや1日コースも参加可能です)
Tel/Fax: 042-494-1598 E-mail: skyoji@jcom.home.ne.jp

本部同窓会事務局日より

「蛩雪」第51号に 寄せて

古川高校同窓会
会長 渡邊 義之



こちらでは、4月21日に60年ぶりとなる季節はずれの雪が降り、地震もたびたびでなかなか天地が落ち着きませんが、在京同窓生の皆様お元氣でお過ごしでしょうか。日頃より同窓会活動に対し、幾多のご支援・ご協力を賜り心から御礼申し上げます。また在京古高同窓会が種々の先駆的な活動を展開しておりますこと、衷心より敬意を表する次第です。

い同窓生が各地の会合に参加するようになり喜んでおります。これらの若い同窓生の活動を積極的に支援して参ります。

次に同窓会活動の中核は支部と同期生の会と考えております。今般在仙同窓生が力強く活動を再開したことは大変嬉しいことで、今後の活動を期待しております。支部と同期の会が活発になるよう具体的なアクションを考えたいと思っております。

次に、会費の納入ですが、納入を依頼して6年経過しますが、納入者は例年1500名以下に限定されてまいりました。納入して頂いた会費の大半は会報の発送費用に費やされ、蛩雪の絆の強化と同様に会の活動にとつて最も重要な目標の一つである母校への有効な援助にはほど遠い現状ですので、会報の配布の有様を検討せざるをえない状況にあります。

次に母校の南校舎が本年中に完成すると聞いております。このこととどう対応するかも今後の課題としたいと思います。

終わりに、在京古高同窓会の皆様方のご健勝と在京同窓会の益々のご発展を祈念し、ご挨拶と致します。(昭34年卒)

近況報告

事務局長 工藤 昭裕



在京同窓会会員の皆様、如何お過ごしでしょうか。一昨年の東日本大震災から2年が経過し、古川

界隈の全壊・半壊家は殆ど取り壊され、歪んだ道路も復旧いたしました。古高生の被災者につきまわしては、お陰様で多くの義援金によって新たな一歩を踏み出すことができました。ご援助をいただいた方々に改めて御礼申し上げます。今後とも古高後輩を暖かくご支援いただきますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。また、去る3月1日に行われました卒業式では、在京同窓会会長高橋俊裕様にご臨席賜り、東京蛩雪賞授与と祝辞を頂きましたことに御礼申し上げます。

さて、本年度の入学式は、4月8日に行われ、241名(内女子85名)の新生を迎えました。また、南校舎の建設が本格化し、12月の完成を目指し、急ピッチで工事が進んでおります。仮設校舎での学校生活にも大分慣れ、元気に毎日を過ごしております。



入学式 校歌披露

次に過日行われました対築館高校定期戦についてご報告いたします。4月26日に築館高校を会場に11種目開催され、8勝3敗で古高が圧勝し、大会5連覇を達成しま

した(通算成績37勝14敗3分け)。今年度は応援団も「築館の応援に負けるな!」とばかりに、例年以上の声量で全校一丸となった応援でした。また、恒例の「新入生応援練習」では厳しい指導に耐え、この1ヶ月で校歌、国歌、凱歌、応援歌等を覚え、正に古高生となったことと思われれます。



対築高定期戦応援合戦

次に今年の卒業生の進路状況についてご報告申し上げます。今年3月の卒業生も昨年の卒業生同様に、「文武両道」の旗印の下、その実力を遺憾なく発揮しました。国立への現役合格者数は、昨年度には及びませんでした。京都大1名や東北大4名などの難関大学を始め78名が合格しました。今後ますますの躍進と期待を込め、進路指導により一層の力を注いで参りたいと思っております。詳しくは別紙進路一覧表をご覧ください。

部活動では、総体で陸上部の佐藤慎也君が走高跳で東北大会出場、柔道部山崎菜さんの第3位、ソフトボール部男子のベスト4、スキー部の金野省吾君が大回転と回転で東北大会出場、内藤法幸君が15km

フリーで東北大会、10kmクラシカルでインターハイに出場しました。国体予選で内藤法幸君が10kmクラシカルと10kmフリーで共に第1位(国体出場)と活躍しました。また卓球部の千田さくらさんは、全国選抜大会へ出場しました。文化部では、化学部が理科研究発表会で全国総合文化祭へ出場、吹奏楽部の菅原佑樹君がソロコンテストで東北大会金賞、県作曲コンクールで佐藤真世さんと大瀧純平君が特選を受賞しました。その他各部活動とも大いに活躍しました。今年度もさらに飛躍が期待されます。

最後に本年度の本部同窓会総会のお知らせです。本年度は8月10日(土)に大崎市古川の「芙蓉園」で開催いたします。本年度は記念講演としまして、元東京大学教授である佐々木力様のお話を予定しております。どうぞ奮ってご参加ください。また、本年度当番幹事は高19、24、29、34、39、44回生です。是非本部同窓会を利用し、同期会の場としてお集まり下さいませよう重ねてご案内いたします。(昭49年卒)



対築高定期戦閉会式



去る3月1日に行われた卒業式に、在京古高同窓会より高橋会長と共に出席し、生徒会・クラブ活動等、生活全般にわたり功績のあった2名、生徒会長の壹岐琢己君（いきたくみ、バレーボール部）と応援団長の穴戸俊紀君（ししど）と賞を授与しました。写真。

南校舎が解体される、新校舎の基礎工事が始まっている中、卒業式には多数の父兄や来賓の方々が出席し240名の卒業生を祝福しました。式典は卒業生の各クラス代表の面白いパフォーマンスもありましたが、国歌や校歌の斉唱も行なわれ、全体的に整然と執り行なわれました。（大友）

東京堂雪賞

特別な経験
生徒会長 壹岐 琢己

1年間の生徒会長としての仕事を終え、東京堂雪賞という素晴らしい賞をいただき、大変嬉しく思っています。

会長就任当初は、自分の力の無さに気付かされたり、またその学年を代表する生徒としての責任の重さに悩み葛藤したこともありましたが、しかし生徒会長としての経験が自分という人間を一回りも二回りも大きく成長させてくれたと思います。

卒業という節目を迎え、自分の18年間の人生を振り返ってみますと、この古川高校で学んだ3年間で最も濃い時間だったと思います。また、生徒会長として古川高校の校訓「質実剛健、自主自立、学問尊重」の精神を培うことができたのはとても良い経験でした。

自分は、今回いただいた東京堂雪賞に恥ぢぬように、また、古川高校で学んだことに恥ぢぬように、これからの人生を精進していきたいと思えます。本当にありがとうございます。

古高魂を糧にして
応援団長 穴戸 俊紀

この度は、東京堂雪賞という大変素晴らしい賞をいただいたことに、嬉しい気持ちでいっぱいです。また、先代の団長と同じ賞をいただけていることにも嬉しく思うと同時に誇りにも思います。卒業を迎え、早くも感じ、それだけ充実していたとも感じられる3年間で、何より団長として過ごした日々は忘れることはできません。



左より高橋会長、穴戸君、壹岐君、大友監事

私はまず、なくなっていた一般応援歌、野球部の歌、球技の歌の復活を命じられました。これは決して1人でできたことではなく、応援団の仲間と1年生の積極的な取り組みによって実現できたことだと思います。私の代では、1年生しか歌えませんが、いずれ全校生徒が歌えるようになり、完全復活することを目指します。

そして、決して忘れられない大震災を胸に、全競技を行えることに感謝しながら、学校としては4連覇のかかった定期戦に臨みました。チーム古高が一つとなり、大きなプレッシャーを打ち砕き、4連覇を成し遂げることができました。勝利を分かち合うことのすばらしさを実感するとともに、古高生の持つ底力を実感しました。

最後に、これからの人生、古高で培った古高魂を糧に頑張りたいと思います。そして、後輩達がこの代々受け継がれてきた古高魂を受け継ぎ、古高をさらに素晴らしい学校にしていくことを願っています。

平成25年度進路状況（現役のみ）

国立大 57名

大学	学部	男	女	計
室蘭工	工	1		1
弘前	人文(経)	1		1
	人文(人)		1	1
岩手	教育	1	1	2
	工	4	1	5
	農	2		2
東北	経済	1	1	2
	工	3		3
宮城教育	教育(中等)	3		3
	教育(初等)	1	1	2
	特別支援	1	1	2

大学	学部	男	女	計
秋田	教育文化	1	1	2
山形	人文	4	1	5
	地域教育	1	1	2
	理	4		4
	工	2		2
	医・看護	1	1	2
福島	人文社会	2	1	3
	理工	1		1
茨城	人文	1	1	2
	理	1		1
	工	2		2

大学	学部	男	女	計
筑波	情報	1	1	2
	理	1		1
宇都宮	国際	1	1	2
	農	2		2
埼玉	工	1	1	2
千葉	文	1	1	2
東京学芸	教育	1	1	2
新潟	人文	1	1	2
京都	文	1	1	2
合計		43	14	57

公立大 21名

大学	学部	男	女	計
岩手県立	総合政策	1	1	2
	ソフトウェア	5		5
宮城	事業構想	3	1	4
	看護	3		3
山形保健医療	保健医療	1	1	2
会津	コンピュータ理工	2		2
高崎経済	経済	1	1	2
埼玉県立	保健医療	1	1	2
愛知県立	外国語	1	1	2
愛知県立芸	音楽	1	1	2
合計		13	8	21

私立大 300名

大学	学部	男	女	計
弘前学院	看護	1	1	2
盛岡	文	1	1	2
	栄養科学	1	1	2
石巻専修	人間	1	1	2
	理工	7	7	14
仙台	体育	1	1	2
東北学院	文	7	11	18
	法	3	3	6
	経済	12	5	17
	経営	13	3	16
	教養	7	9	16
	工	41	41	82
東北工	工	10	1	11
東北福祉	総合マネ	2	2	4
	総合福祉	4	7	11
	健康科学	3	4	7
	子ども科	5	2	7
東北薬科	薬	1	1	2
宮城学院女子	学芸	11	11	22

大学	学部	男	女	計
仙台白百合女子	人間	3	3	6
東北文化学園	医療福祉	4	4	8
	総合人間	5	1	6
秋田看護福祉	看護福祉	1	1	2
足利工	工	2	2	4
国際医療福祉	保健医療	2	1	3
獨協医	看護	1	1	2
東京福祉	社会福祉	1	1	2
	文教	1	1	2
	教育	1	1	2
	情報	4	4	8
西武文理	看護	1	1	2
人間総合科学	人間科学	1	1	2
日本医療科学	保健医療	1	1	2
青山学院	文	1	1	2
	理工	1	1	2
	ビジネス	1	1	2
	リベラル	1	1	2
大妻女子	社会情報	2	2	4
北里	獣医	2	2	4

大学	学部	男	女	計
慶應義塾	理工	1	1	2
国学院	文	1	2	3
	生物産業	1	1	2
駒沢	文	2	1	3
	仏教	3	3	6
芝浦工	シス理工	1	1	2
順天堂	スポーツ	2	2	4
女子栄養	栄養	1	1	2
専修	文	2	2	4
	法	1	1	2
玉川	経営	1	1	2
	観光	1	1	2
帝京	理工	4	4	8
東海	文	1	1	2
	政治経済	2	2	4
	教養	1	1	2
	理	2	2	4
	工	3	3	6
海洋	理	2	2	4

大学	学部	男	女	計
東京農業	地域環境	1	1	2
	農	2	2	4
	生物産業	1	1	2
	応用生物	1	1	2
東京理科	理工	3	3	6
東洋	法	1	1	2
	経営	1	1	2
	理工	1	1	2
	ライフデ	1	1	2
日本	経済	1	1	2
	文	2	2	4
	生	5	1	6
	生産工	1	1	2
	生物資源	2	1	3
法政	文	1	1	2
	法	1	1	2
	経済	1	1	2
	理工	1	1	2
	スポーツ	1	1	2
合計		208	92	300

第三十回 旧古川市内四校新年の集い

第20回

旧古川市内四校関東同窓会

「新年の集い」に参加して
昭42年卒 大友 文博

第20回旧古川市内四校関東同窓会の「新年の集い」が1月26日(土)東京上野の精養軒で開催された。関東在住の古川高、古川黎明高、古川工業高、古川学園高の出身者など約230人が出席、旧交を温めたほか、各校からの挨拶や阿部博之元東北大学総長の講演や同窓生による余興などが行われた。

第一部の総会では、今年の幹事校古工の草刈関東同窓会会長から、政治経済の最近の低迷は目を覆いたいものがあるが、今年はず支では「癸巳(みづのとみ、きし)」の年であり、物事が新たに始まるという意味を持っているので期待したいという挨拶に始まり、古高の鈴木校長から南校舎が解体され、12月から建設工事が始まっていること、黎明の佐々木校長からは校名変更して8年になり、中高一貫教育が進んでおり、また旧校舎が解体され生まれ変わるとの話しに続き、古工の大内校長からは、来年80周年を迎えるが駅伝、自転車競技などでの活躍のほか、就職も100%と好調であること、古川学園の宮本校長からは、地震で校舎を解体し、今年12月に新校舎が完成すること、バレーボール女子の活躍やほぼ100%の就職について報告があった。

来賓として出席した大崎市の植田副市長から、道路などの復旧、建物の解体もほぼ終り、今年復旧の姿を見ていただきたいとの大崎市の現状の話を頂く。



左より相澤副会長、渡邊会長、高橋副会長、工藤事務局長

講演では、昨年瑞宝大綬章を受賞した阿部博之元東北大学総長から「江沢民主席の東北大学訪問の教訓」(価値の多様化のすすめ)というテーマで、米国などの強みは多様化にあり、画一的ではない多様化・多様性がこれからの日本に必要という講演内容で、例として、中国の江沢民主席が日本を訪問したとき、東京では日本に対する中国の厳しい歴史認識を表明する一方、東北大学では文学で国を救おうとした魯迅などに関する資料に触れ、深い感動を示すなど大変友好的であり、多面的な外交のエピソードを紹介した。

またノーベル賞の受賞はアメリカが圧倒的に多いことに触れ、これは米国ではワンパターンに陥らないように常に多様性を尊重し、異なった視点からイノベーションを追求していく風土が貢献していること述べた。

< 第20回四校合同新年会 古高出席者名簿 >

- [四校来賓] (敬称略) 植田 雅俊 (大崎市副市長) 佐々木欽三 (首都圏大崎連絡協議会会長) 伊藤 長市 (東京古川会会長) 大江 清輝 (鳴子観光建設課長)
- [古高来賓] (敬称略) 鈴木 悟 (学校長 佐沼出身) 渡邊 義之 (同窓会会長 S34卒 東大崎出身) 高橋 亨 (同窓会副会長 S23卒 古川出身) 相澤 信 (同窓会副会長 S35卒 古川出身) 工藤 昭裕 (同窓会事務局長 S49卒 中新田出身)
- [会員66名] (カッコ内は出身地)
- 昭18 豊嶋 転三 (田尻) 昭30 相原 相 (色麻) 昭31 二階堂幸雄 (鳴子) 昭34 六戸 志智 (敷玉) 昭41 八木 正志 (鳴子) 昭55 亀井 明 (小牛田)
- 昭20 鈴木 大吉 (小牛田) 昭30 尾崎 光彦 (田尻) 昭31 平野 武 (長岡) 昭35 佐々木武磨 (敷玉) 昭42 大友 文博 (田尻) 昭55 渡邊 博之 (東大崎)
- 昭24 齋藤 馨 (小牛田) 昭30 門脇 喜代志 (東大崎) 昭31 三塚 正志 (高清水) 昭36 鹿野 軍勝 (東大崎) 昭42 佐々木昭美 (田尻) 昭61 渡邊 博之 (東大崎)
- 昭26 角田 啓輔 (古川) 昭30 門脇 敏明 (東大崎) 昭31 横山 武 (松山) 昭36 鹿野 千坂 隆行 (荒雄) 昭45 岩瀬 昭典 (岩出山) 昭61 平8 菊地 宏幸 (高清水)
- 昭27 氏家 明朗 (岩出山) 昭30 岸 康男 (鳴子) 昭31 和田 勝義 (岩尻) 昭37 児玉 孝夫 (荒雄) 昭45 岩瀬 昭典 (岩出山) 昭61 平11 白鳥 喬太郎 (築館)
- 佐藤 清勝 (中新田) 昭30 佐々木英三 (志田) 昭31 渡辺 吉郎 (志田) 昭38 佐々木恭次 (古川) 昭45 佐々木裕祥 (富永) 昭61 平24 白鳥 喬太郎 (築館)
- 中森 高 (岩出山) 昭30 佐々木 豊 (古川) 昭31 相澤 昭男 (三本木) 昭38 高橋 忠世 (田尻) 昭45 佐藤 実 (岩出山) 昭61 田中 草太 (小野田)
- 春田 紘輔 (古川) 昭30 佐藤 輝久 (荒雄) 昭32 相澤 満行 (大衡) 昭39 高橋 正司 (鳴子) 昭46 武藤 信彦 (岩出山) 昭61 鹿野 裕之 (古川)
- 昭28 中川 裕雄 (志田) 昭30 佐藤 輝久 (荒雄) 昭32 野田 利美 (東大崎) 昭39 後藤 雍正 (宮崎) 昭46 笠岡 邦彦 (浦谷) 昭61 鹿野 博之 (鹿島台)
- 昭29 金原 章郎 (古川) 昭30 曾根 研一 (西大崎) 昭33 佐々木光一路 (富永) 昭40 工藤 邦保 (中新田) 昭46 菅原 博之 (鹿島台)
- 佐藤 郁郎 (古川) 昭30 高橋 研一 (小野田) 昭33 高橋 俊裕 (富永) 昭41 菊地 務 (古川) 昭46 菅原 博之 (鹿島台)
- 早坂 清吉 (三本木) 昭30 塚田 容三 (中新田) 昭33 早坂 英郎 (色麻) 昭41 高橋 秀之 (古川) 昭46 菅原 博之 (鹿島台)

佐藤 啓三 (S40年卒 中新田)

中小企業診断士
ISO (品質・環境) 主任審査員
エネルギー管理士
東京都温室効果ガス検証主任者

携帯 090-1438-9132
FAX 045-953-3894
E-mail: fzn04730@nifty.com
〒241-0004 横浜市旭区中白根2-22-19

内科・小児科
長井内科
院長 医学博士
長井弘策

[昭和31年卒 (高8回)]
[古川高校同窓会副会長]

〒989-6154
大崎市古川三日町1-3-25
TEL 0229 (91) 1020

会員による自由投稿

在京同窓会との関わりと

青春18切符での日本百名山―縁

昭37年卒 千坂 孝夫



百頂百憩・完登の「雌阿寒岳」頂上（目開かん）
―半世紀の挑戦・あきらめなければ夢は叶う―

古高卒業と同時にの上京。在京同窓会との関わりは20歳台後半から。

最初は北浦太一会長（大14卒）が細々（と言うのは組織立っていないかった印象）。虎ノ門の居酒屋・酔心での総会参加。

以後、半田實会長（昭22卒）、事務局はグリルマルカン（丸の内・明治生命館内）支配人・高橋陽一郎さん（昭28卒）というこゝで、グリルマルカンや丸の内精養軒での開催。

伊藤宗一郎会長（昭16卒）時代、自民党本部での役員会や憲政記念館。組織替えでの片平司朗事務局長（昭31卒）時代。後輩の島山英洋さん（社員・昭45卒）が事務担当。都市センターホールや都道府県会館。

高田馬場・千代田平安閣時代から「四校合同新年会」が産声をあげた。遠山仁一さん（昭25卒）・高橋淳夫さん（昭17卒）。伊藤守治さん（昭9卒）が廉価にということでの神楽坂・赤城神社隣接エミール。湯島のガーデンパレス、芝のメルパルク。今は上野精養軒。

この間、尾崎章さん（昭31卒）のサブで「蛍雪」を担当。記憶のま

まの記述であるが、多藤省徳さん（昭9卒）繋がりでの歌舞伎座裏・極洋クラブ、衆院議長公邸訪問も印象深い。三浦澄能会長（昭24卒）の時代は病に伏せていた。

今は、いろんな縁を感じている。高橋会長（昭33卒）はC W V（中大ワンゲル）での同期・栗原吾郎ちゃん（現、ダイソー社長 矢野博文氏）と広島でのゴルフ仲間とのこと。旧東海道・餅甚の主は大学同期であるが伝説の東京トヨベツ社長時代の御用達先だったとのこと。曾根副会長（昭30卒）のお嬢様・麻矢子さんのチェンパ口は時々楽しませていただいている。このきかずが……と春田副会長（昭27卒）が思っていた少女はM W。オヤジがよく話していた長瀬のできる人。は青沼康男さん（昭19卒）在京元監事。……

深田久弥の「日本百名山」発行は昭和39年秋、新潮社からで9800円。ワンゲル2年次であり、手には取ったが、（高くて）買えなかった。本箱に入っている本の購入は40年3月、「こんな山に登りたい、こんな生き方をしたい」とある。

運動（スポーツ）は何をやらせても下手であったが、歩くことと背負うことは苦にならず、シゴキの名残りがあつた時代でもバテ知らず。ということ（山ワンゲリング）山・旅）は生涯楽しむこととなった。幸い、結婚時「孝夫さんは山が好きなのだから、山だけは行かせた方がよい」と妻に言い含めた（小生にとつての）恩人あり。

この夏、青春18切符5日分で谷川、至仏、赤城、男体、草津白根と日帰りて稼ぎ、秋は浅間と甲武信。95年は開山祭の大菩薩に始り、両神、蓼科、苗場、伊吹、月山・蔵王、磐梯、八ヶ岳と9座稼ぐ。青春18切符と出張帰り善用。96年は四阿、妙高・火打、富士山（ワンゲル部学生の息子と初）、燧、皇海、那須岳。1年に7座前後がせいぜいであった。手当たり次第の登山故、残る山はだんだん高く、遠くに。99年北海道入り単独の大雪山・十勝、山仲間との最難関・幌尻岳。罷は恐ろ高山の花は美しくの北の山。8月ワンゲル先輩Sさんの完登の山・光岳（私には75座目）。2000年、86座目の白山後、4年間の休眠。自宅での寝たきり生活に足は意識しないと前出ないほど弱る。



いいよ。と。07年からは、残り6つの北海道の山を5日間1万円切符で1座ずつと北・南アルプスの高峰攻め。（09年7月に羅臼、8月はあのトムラウシ遭難死事故後の盆休みにトムラウシ温泉から往復12時間登山）。

2010年8月1日雄阿寒岳で日本百名山完登。高2での修学旅行時、杉野目北大学長（明45卒）にお話いただいたクラーク博士像に挨拶し、本部での「同窓会百周年記念総会」に参加。さとう宗幸さん（昭42卒）の♪岩尾別旅情で祝っていた。

2011年知床硫黄岳へどうしても登りたいS先輩の登山を計画。8月2日登頂、帰路熊に遭遇するも、予備日の翌日は羅臼巡り。4日、千坂さん、雌阿寒に登っていないでしょ。雄より雌の方が高い。夕刻、支笏湖の国民休暇村。ワンゲル後輩Hさんが所長。正真正銘の「日本百名山完登」打上げであった。

後日談、荒雄中学同級・青梅在の磨さんから「記念の木札」、明德さんから「巍然」の書、家族からは2011年正月、箱根駅伝の応援を兼ねて奥湯本・雉子亭宿泊。

06年の復活の山は、奇しくも白馬前の大学1年次の幻の岩手山（寮で赤痢が発生、急遽不参加に）。秋の平ヶ岳では財布に十分な金がなかったが、伝之助小屋のオヤジさん、後で送ってくれば

山ありて我が人生は樂し
深田久弥

深田久弥 日本百名山
深田久弥氏「日本百名山」色紙と
尊敬する植村直己氏本

会員による自由投稿

在京古川三高校
柔道部OB会花見会

昭27年卒 春田 絃輔

在京古川三高校柔道部OB会の花見会が、3年ぶりに3月30日(土)上野で開催されました。

在京柔道部OB会は、古く故片平事務局長の時代から活動して来ております。三校合同になってからもすでに7年経っております。会は忘年会が基本ですが、花見会も人気があり、はるか古川・仙台からも参加者が参じてくれています。

特に古川学園の前理事長・泉澤八段と古高30年卒の堀越八段の両氏は、ともに県柔連副会長の要職にあり、柔道界の名士です。従って話題も豊富で、盛り上りは最高



上野公園にて

です。

ところが、先の大震災があり、ふるさとに遠慮して見合わせておりましたところ、1月の四校新年会の席でぜひ再開という話になり、古高41年卒の菊地務さんの骨折りで再開となりました。

今年は桜の開花が早く、案内の日には葉桜かと心配でしたが、幸い当日は天候も良く満開でした。

一次会をぶんか亭で行ない、参加者15名、調子良く下地ができたところで上野公園に移りました。場所も格好の場所がとれて、これぞ日本の花見であるという気持ちにひたることができました。

当日の参加者は、古川学園から37年卒の川名さんと、その時のマネージャーだった佐藤てる子さんと村上真由美さんが参加され、さらに古女からは島崎せつ子さんが協賛参加されるなど、大変にぎやかな会となりました。

古工からは、常連の佐藤喬さんが欠席となりましたが、42年卒の加藤昭夫さんが参加され、会を盛り



り上げてくれました。

ふるさとにつながる集まりのなかでも、同じ道で汗を流し、共通の苦楽を過ごした仲間と語り合える大切な場でありたい。これからも元気に続けてゆきたいと思っております。

被災地に本を届けたい

昭26年卒 鈴木 桂吾

被災地の応援にも色々あるが、在京会役員が音頭を取って会員の死蔵書を集め、中高生へ送ってみたいかどうか。

実は一昨年9月に石巻市湊小学校へ(間借中)電話のあと、泰西名画全集20余(新婚時に揃えた)と子供が使った各図鑑20余、小学生でも読める文学全集その他計120ばかりを1m四方のダンボール二つで送り、喜ばれた。

湊小との縁は、昭和22年の夏休みに古高の「水泳部合宿」を名乗って教室を借り、1週間余自炊の合宿をした。

勿論水泳部など無く、実体は文芸部員で目的が「俳句の吟行と古典の研究」で、古川北町の高1の先輩1人と私ら併設中学3年の5人だった。(今、藤沢に住む岩出山の中森高もその1人)

日和山で吟行は行ったが、古典などはすっかり忘れて毎日海へ行って泳いでいた。当時、石巻の人からも鷹揚で弱小水泳部と見たのか、親切にしてくれた。

今、蔵書から池波正太郎の文庫本小説や、教養新書など200余を選別中だが、ぜひ実現してほしい。

“蓮つかさ” 囲碁会 (後援会開催のご案内)

—古高初のタカラジェンヌの東京公演へ集ろう—

平成21年(高校61回)卒の古高始まって以来のピカピカのタカラジェンヌです。東京公演観劇と囲碁会(後援会)へ集って、彼女の活躍を応援しましょう。

日時:平成25年9月21日(土)

場所:○観劇会(東京宝塚劇場):15時30分開演(15時開場)、18時30分終演
○囲碁会(学士会館):19時15分~21時

参加費:①観劇会(S席)と囲碁会参加:13,500円
②観劇会(A席)と囲碁会参加:10,500円
③囲碁会だけ参加:5,000円

申込み先:在京古高同窓会事務局(佐々木恭次)

Tel/Fax: 042-494-1598 e-mail: skyoji@jcom.home.ne.jp



貸ビル、貸マンション業

株式会社 佐々木商事 代表取締役

株式会社 アクアバンドジャパン 代表取締役副社長

佐々木 光一路 (昭和33年卒)

〒144 東京都大田区南蒲田1-1-21 佐々木ビル
-0035 第一京浜国道沿い京急蒲田駅前
電話 (3739) 2468
FAX (3732) 7700
HOT Line 090-3202-6393

情報処理のエキスパート/完成図書・デジタル化総合サポート

電子納品作成支援
おまかせください!

導入から成果品まで専任スタッフがきめ細かく対応しバックアップいたします。

専任スタッフ・有資格

CALS/ECインストラクター	10名
電子化ファイリング	2名
文書情報管理士1級	1名
文書情報管理士2級	3名

代表取締役会長 早坂 清吉 (昭和29年卒)



http://www.keyo.co.jp E-mail:info@keyo.co.jp

本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6
☎ 03-3242-0191 FAX 03-3242-0167

— お 知 ら せ —

平成25年度 在京古高同窓会定時総会・懇親会

【日 時】平成25年7月6日(土) 11:30~15:00
【会 場】上野精養軒 電話 03-3821-2181
【会 費】8,000円
【講 演】加藤勝信氏(内閣官房副長官)

演題: 総理側近に聞くーこれからの政局展望
ーアベノミクスの成長戦略、外交戦略
そして安倍総理の描く日本の将来などー

【交通案内】JR上野駅公園口から徒歩5分



【講演講師】加藤勝信氏 プロフィール
昭和30年 東京都生まれ
都立大泉高校出身
昭和54年 東京大学卒業後、大蔵省入省
昭和59年 倉吉税務署署長
平成6年 農林水産大臣秘書官
平成7年 大蔵省退省後、
衆議院議員 加藤六月氏 秘書
平成12年 川崎医療福祉大学客員教授(現任)
平成15年 衆議院議員初当選
平成19年 内閣府大臣政務官(安倍改造内閣)
内閣府大臣政務官再任(福田内閣)
平成24年 自由民主党総裁特別補佐・報道局長
衆議院議員4期目当選
(岡山県第5選挙区)
内閣官房副長官就任(現任)



会 員 通 信

● 蛭雪たより50号、うれしく拝見しました。幹事の皆様の御努力に対して深く感謝いたして居ります。(S14中沢 広)
● 会社の仕事は辞めましたが、相変らずボランティアでの日本語教師は続けており、精神的・肉体的に続けられる限り頑張ります。(S27菅原峯雄)
● 趣味ではじめた鎌倉彫(彫刻のみ)も30年になります。そろそろ体力・精力に限界を感じ、漆代の捻出も大変なので、この辺でやめようかなと思っています。(S28早坂明久)
● 相変わらず、臨床で頑張っています。(S29日鑑記念病院 金原章郎)
● 歳なりに元気にやっております。だんだんと同窓会にも若い方々の参加も多くなるようで安心してます。色々の手段をもち呼びかけも必要ですので、頑張ってください。(S29佐藤 現)
● マンション管理士の資格を取得し、現在は管理組合の理事長をやっています。住民と管理会社との健全な関係の維持に努めています。(S29関口克己)
● 三塚さんの山歩き雑感、楽しさを知っている同好の士として共鳴できます。週に2・3回卓球していますが、反射神経によいらしく、周りにホケはいません。でも、自分ももっとこの先どうなるのか、保証の限りではないが。(S29三浦憲一)
● 元気な内に、以下の会合に参加しています。在京古高同窓会(1回/年)・在京古高30年卒同期会(2回/年)・在京古高四校柔道部OB会(2回/年)・古川中学第5回卒業同期会(宮城県1回/2年)等。(S30佐々木 豊)
● 尖閣諸島問題の前の7月に、中国東北地方、旅順・大連・本溪・瀋陽に行きました。日本の名残りをかき見えて来た次第です。(S30横山 武)
● 在京古高同級生、古川・仙台在住の同級生と那須や伊豆で年何度かゴルフをやったり元気者同志で旅行もしています。あとの位出来るのか? (S31阿部 進)
● 73歳になり、やや体力・精神力の衰えを感じるものの、血糖値が少し高めながら、他にこれといった持病もなく、概ね元気に暮らしています。(S33大山隆志)
● NPO活動を始めて5年目、高齢者の孤独死・孤立死防止活動です。当方も高齢者の仲間入り、お互いの元氣確認を行っているところです。(S35佐々木恭二)
● つくば市教育委員会の教育委員長に就任しました。東大では引き続き非常勤で講義をしております。(S35東京大学 大沼直紀)
● 昨年9月、第28回全日本選層野球大会(横手市)で、5戦連勝で準優勝。4日間6試合を監督選手として全試合戦い抜き、チームメイトに胴上げしてもらい、70歳のいいスタートを切りました。(S36上福岡高等看護学院 江崎 肇)
● 昨年春と秋に被災地石巻と閉上に行ってきた。津波の跡はそのまま、心が痛みました。復興の早からんことを切に祈っております。(S36長井 清)
● 全日本軟式野球連盟の千葉県支部理事長として、忙しくしています。(S37阿部 孝)
● ご案内をいただき、会報などを拝見するだけでも、とても嬉しく、心から感謝しております。(S37田口正志)
● 東日本大震災から2年経ちましたが、福島第一原発の周囲は復旧もできていません。道州制が導入されたら州都は仙台になると思いがすが交通手段が悪く、いわき市は辺境の地となることでしょう。常磐新幹線を建設して欲しいものです。(S38いわき市高坂クリニック(阿部重人))
● 四校合同新年会には昨年生のみならず参加しましたが、古高の同期生のみならず、同じ宮崎中卒で、古工や古女に行った人たちとも会え、楽しい時間を過ごすことができました。(S39社会保険労務士(後藤雅正))
● 昨年9月、妻の13回忌を終え、今は14歳の愛猫の介護(週1回の点滴通院)。独り身になったら「八丈島にて養豚業で最後の闘い」に準備しているところです。(S40内晋典)
● 晩年、有意義に暮らす為、9月よりヨガインストラクチャー資格取得をめざし、専門学校に通学中。田舎に帰り、友人とのヨガイ井戸端会議が夢。(S41(合)情報館 後藤健人)
● 毎朝5時起きで、さいたま市日進町の職場まで通っています。電車とバスと歩きで、片道2時間半かかります。お陰で体が引き締まり、腰痛が治り、風邪も引かず、と良いことずくめです。(S41農研機構・生活センター 高橋秀之)
● 郷土の復興への道は、未だ未だです。何か、お手伝いできる方策を検討されてはいかがでしょうか。(S41早坂行雄)
● 昨年9月、41年6ヶ月動めた共立(株)を定年退職し、忙しい日々を送っています。趣味の料理(山料理ですが)、登山、スキー、ゴルフ、友人付き合いなど楽しんでます。(S41佐藤文清)
● 福島原発被災者の方にひとこと「被災者の明日への歩みを 支えよう 復興の花咲く日まで」(S42安部清一)
● 「蛭雪」第50号、すみからすみまで目を通させていただきました。3・12の同級会を「昭42卒の同期会」と置き換えて毎年夏に「さとう宗幸」を囲んでいます(仙台)。また、吹奏楽部もOB会演奏会定演が続いており、昨年8月に、恩師(顧問)友川先生を囲んできました。(S42三浦和夫)
● 風力、再生可能エネルギーの研究・普及に国内外を走り回っています。(S45東京大学 荒川忠二)
● H24年に37年間勤務した埼玉県信用金庫を退職し、第2の人生をスタートしたばかりです。現在は、関連会社にパートとして勤務しております。(S45武藤信彦)
● 昨年6月に明治安田生命を定年退職し、自宅(神戸市)に戻りました。今後は関西でOB会に参加できればと思っています。(S46細川三男)
● 2010年4月より、目白大学短期大学部で働いております。(S55鈴木健之)

心よりご冥福を お祈りいたします

- 佐藤 浩朗氏 (昭和23年卒) 平成24年6月6日
志賀 隆氏 (昭和40年卒) 平成24年2月29日
相沢 吉二氏 (昭和42年卒) 平成24年7月
小崎 三朗氏 (昭和45年卒) 平成23年1月22日

編集後記

本誌の編集に取りかかろうとしていたとき、テレビの画面は国民栄誉賞の表彰式でした。長嶋さん現役引退時のセレモニー「我が巨人軍は永久に不滅です」の回顧シーンも映りましたが、背後のスコアボードの電光掲示に「鈴木」という名前が見えました。長嶋さん引退試合の三塁審判は、古高同期の鈴木徹君(S30年卒・H16年没)だったのです。私はあの日、仕事の関係で巨人軍選手の控える一塁側ダッグアウトの中から、世紀の引退セレモニーを観ておりました。(曾根)